

委員会活動レポート①

常任委員会や特別委員会などは、市民生活に深く関わる課題などについて、会期中以外にも調査、研究を行っています。最近の活動内容をご紹介します。

経済産業委員会

行政視察

3月25日(火)

コルディアール佐賀農園(三養基郡上峰町)

- 農福連携の取り組みについて

橋本農園のハウス建設地(佐賀市大和町)

- さが園芸 888 運動に係るハウス設置の進捗状況について

ゆめファーム全農 S A G A (佐賀市高木瀬町)

- 施設園芸高度化栽培技術について

行政視察

5月20日(火) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)

- スマート農業の普及に向けた取り組みについて
- 水稻の品種改良について
- クレークなどのナガエツルノゲイトウの防除について

5月21日(水) 長野県長野市

- 地域未来投資促進法による産業団地について



農研機構



長野市役所

議会運営委員会

行政視察

4月15日(火) 滋賀県長浜市

- 通年議会について
- 議会活性化に向けた取り組みについて

4月16日(水) 三重県四日市市

- 通年議会について
- 議会改革の取り組みについて



四日市市役所

総務委員会

行政視察

5月13日(火) 兵庫県

- 参加体験型博物館について

5月14日(水) 大阪府堺市消防局

- 消防・防災の取り組みについて



兵庫県立考古博物館



堺市総合防災センター

建設環境委員会

行政視察

4月22日(火) 千葉県千葉市

- ドローンを使った下水道管点検の実証実験について

4月23日(水) 神奈川県三浦市

- ウォーター PPP について



千葉市役所

福祉教育委員会

行政視察

5月8日(木) 神奈川県座間市

- 生活困窮者自立支援制度を活用した取り組みについて

5月9日(金) 神奈川県川崎市

- 不登校児童・生徒への支援について



座間市役所



川崎市子ども夢パーク

委員会活動レポート②

佐賀空港の自衛隊駐屯地計画に関する調査特別委員会

4月8日(火)

執行部から①佐賀空港建設に関する公害防止協定書に基づく事前協議について②4月7日に防衛大臣と佐賀市長との面談で交わされた確認事項について③防衛省補助事業（民生安定助成事業）の活用について④佐賀市における協議会の設置について、それぞれ説明を受け質疑を行いました。

Q 事故等があった場合の対応はどのように考えているか。

A 防衛省には、安全対策の徹底を求めている。事故が発生した場合は、まず迅速な情報提供を行うこと、また事故原因の究明、再発防止策を徹底していくこと、損害や被害等が生じた際は、しっかりと補償等の措置を講じることを求めている。

Q 目達原駐屯地との往来が非常に多くなると思うが、飛行ルートはどうなっているか。

A 具体的な飛行ルートは示されていないが、基本的には、大きな河川や道路等の上空を飛行し、できる限り市街地の上空は避けると聞いている。

5月15日(木)

駐屯地建設工事の進捗状況や、民生安定施設整備事業が採択された戸ヶ里漁港の概要および工事状況について、現地で九州防衛局および執行部から説明を受け、質疑を行いました。



佐賀駐屯地建設現場視察の様子
(佐賀空港展望デッキ)



戸ヶ里漁港視察の様子

九州新幹線整備に関する調査特別委員会

5月30日(金)

青森大学社会学部の櫛引素夫教授^{くしびきもと お}を参考人として招き、新幹線を契機としたまちづくりについて、説明を受け、質疑応答を行いました。

【参考人の説明】

新幹線は目的ではなくて手段である。着工から開通まで数十年かかるが、開通時にまちがどうなっているのか、そのイメージや政策的な対応がなければ、つくること自体が目的になってしまう。

新幹線の開通は、まちの大改造の契機ともなり、新幹線がもたらす移動の利便性よりも、地元へのインパクトが大きい。その結果、新幹線の沿線地域とそうでない地域とのギャップが出てくる。

新幹線開業がもたらす最も大きな効果の一つは人づくりであり、住民が地域のことを考え尽くすチャンスでもある。

Q 新幹線開業がもたらす変化が読み切れない中で、これだけは間違いなくまちづくりの効果があると言えるものはないか。

A いいことを挙げればいくらでもある。例えば、新幹線はシビックプライドへの影響が大きく、新幹線が来たから安心して暮らしていけると感じる人もおり、精神面でのインフラになり得る。一方で、新幹線がもたらすネガティブな側面もある。ビジネスチャンスは必ず来るが、そのチャンスに集まるのは地元の人だけではない。

Q 国はフル規格、佐賀駅ルートを強く推しているが、市としては費用負担や利便性への疑問が根強くある。佐賀市の将来のまちづくりについて、どのような視点で取り組むべきか。

A 新幹線整備を議論する上で、国やJRは日本地図や九州全体の地図を見て話をしており、自治体とは立っている土台が違う。それらの話を丹念に整理し直していくと、もう少ししかみ合う議論ができるのではないかな。

